

東日本大震災からの復興へ



—— 被災企業のゼロからのスタート ——

中小機構では、東日本大震災により被害を受けた中小企業等の早期の事業活動の再開のため、自治体と協力して仮設店舗、仮設工場等の施設を整備しています。

三春町仮設店舗 さくら湖・葛尾村のお店屋さん

所在地：福島県田村郡三春町貝山、狐田、柴原の3地区

入居者：葛尾村避難企業7店。食品、雑貨、理容、写真、コインランドリー等



石井食堂 石井一夫様

石井食堂 (飲食店)

「今だからこそ盛り上げていきたい」

3月14日 福島原発により、村民全員避難の指示が出されました。葛尾村の人は高齢者が多く、地元を離れて慣れない避難生活の中、買い物一つとっても大変でした。とにかく店の利益は後にしても、食堂や生鮮食品、生活必需品をみな取り揃えて販売を再開し、村のみんなの役に立ちたいと思いました。安くてボリュームたっぷりが元々うちの店の売りでした。

仮設店舗で営業できたことで、村役場、商工会、中小機構をはじめ、何より村の懐かしい人達との再会があり、うれしく思っています。みんながあつまるところを作りをしながら、少しでも元に戻せるように村民のみなさんの声を取り入れ、盛り上げていきたいと思っています。

渡辺商店 政食堂 (食料品販売、飲食店)

「ずっと居酒屋の仕事が続けていけたら」

仮設住宅には、おじいちゃん、おばあちゃんが多く、買い物にも不便で、みんなから、「どうか仮設の場所でも、以前葛尾村でやっていた店が開けないか」「雑貨屋だけでなく、交流を深めるためにも、食堂兼居酒屋のような店があればいいのではないか」と言われていました。葛尾村の商工会の方から三春町と中小機構が支援してここ三春町の狐田仮設住宅に仮設店舗ができるとお聞きし、とにかくやってみようと思入居しました。私はみんなと喋ったり、ふれあっていくことが好きなので、ずっと居酒屋の仕事が続けていけたらと思っています。



渡辺商店 政食堂 渡辺 政廣様



ヤマザキYショップ ヤマサ 佐藤 英人様

ヤマザキYショップ ヤマサ (食料品販売)

「情報交換の場所として」

私は二代目で、数十年間お得意様としてお世話になった葛尾村民の皆様のためにも、少しでも何らかのお役に立ちたいと思っていました。葛尾村商工会の方から、三春町と中小機構さんのご協力で仮設店舗ができたというのを聞き、入居しました。

足のある若い人達は車でどんどん出かけられるけど、年寄りにはそうはいかないですね。あまり立派な店やなじみのないところで買い物するのは苦手なようで、十分とはいかないまでも年寄りの方のお茶のみ場所として、また情報交換の場所として機能していると思っています。

中小機構ホームページに個別企業への詳細な取材内容を掲載しております。

<http://www.smrj.go.jp/>

(取材日：平成23年12月16日)